

南武 借工場から移転

タイ新工場が完成

メッキ工程も内製化

特殊油圧シリンダーの設計・製造販売を行なう南武（東京都大田区、野村和史社長）はタイに新工場（アマタナコン）が完成、操業を開始した。これまでの借工



場から業容拡大し自社工場を建設、同社初となるメッキ工程も内製化する考えで、同工程は8月操業を目指す。従来、外注化していたが短納期、品質高度化に対応し内製化に踏み切った。なお、7月20日（金）に新工場開所式を行う予定。

同社は2002年に花野タイランド（当時）の離型材工場別棟300平方メートルを賃借する形でタイへ進出。06年に大田区とアマタナコン工業団地のタイアップ貸し工場「オオタテクノパーク」へ第一入居企業として

て、拡張移転した。その後、タイ国内だけでなくアセアン及びインド向けの輸出拠点に成長したことで近隣に新工場を設け、メッキ工程等の業務拡張を図ることになった。新工場移転で同社はオオタテクノパークに

とって第一期卒業生となる。同社は海外第二生産拠点として昨年、中国・江蘇省常州市武进区の生産拠点が稼働開始したばかり。